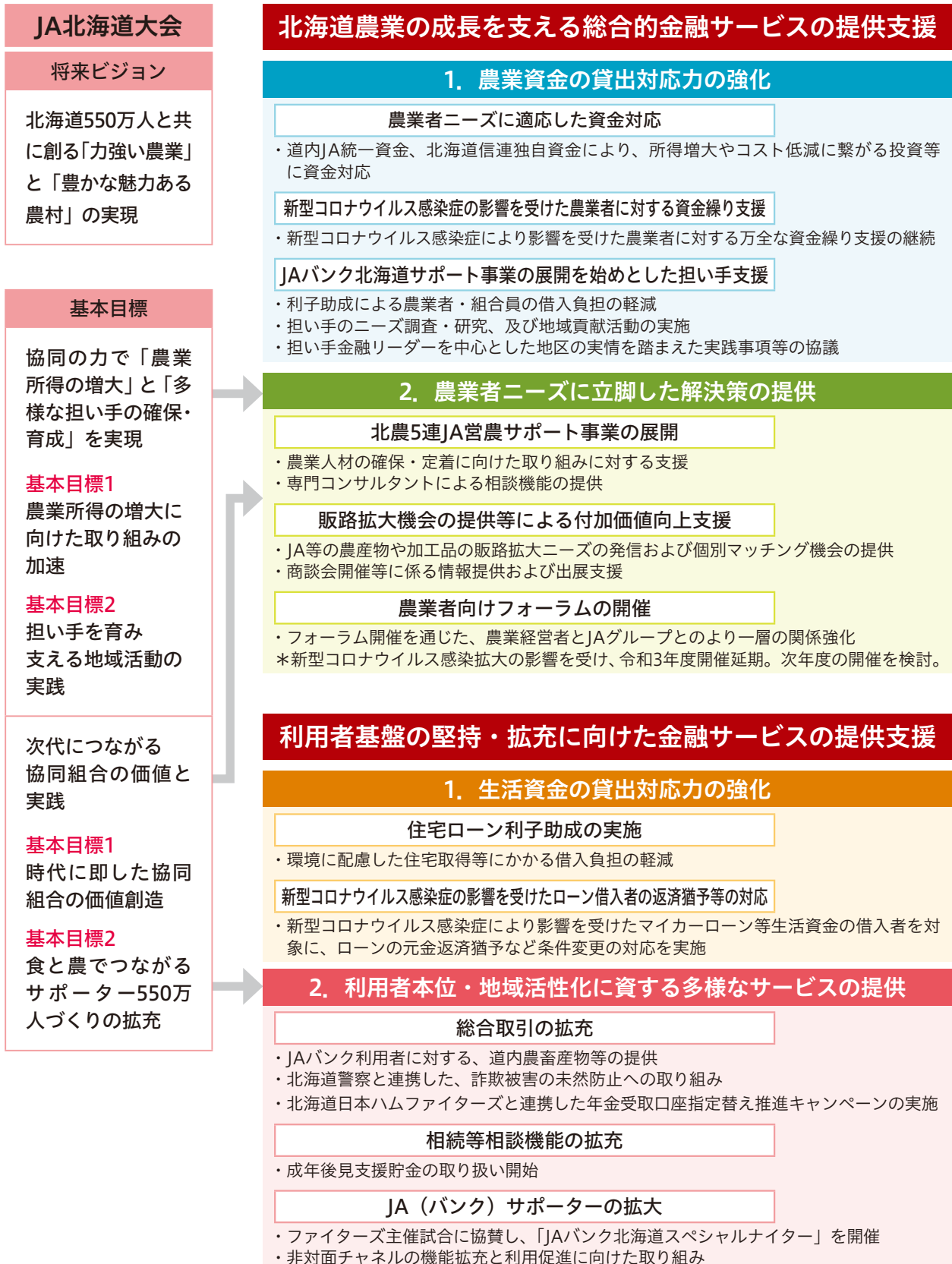


# 自己改革の取り組み（令和3年度の取組事項）

令和3年度におきましても、第13次中期経営計画「新時代“Do”プラン～食と農、地域の未来を切り拓く～」における取組事項の着実な実践を通じて、JA北海道大会の決議事項の実現、そして農業者と地域住民から信頼され選ばれ続けるJAバンク北海道の確立に向けて、全役職員が一丸となって取り組んでまいりました。

なお、令和3年度において取り組んだ項目については以下のとおりです。



# 北海道550万人と共に創る

## 「力強い農業」の実現への取り組み

～北海道農業の成長を支える総合的金融サービスの提供～

JAバンク北海道は、農業者に対する的確な資金供給を通じ、地域における資金循環の活性化への取り組みと、多様化・高度化する農業者ニーズの発掘と課題に適應する総合的な金融サポート機能を提供し、金融仲介機能の発揮に向けて取り組んでいます。

## 農業資金の貸出対応力の強化の取り組み

所得増大やコスト低減に繋がる投資等への十全な資金対応を実現するため、多様な農業資金を用意し、農業者ニーズに適應した資金提案を実施しているほか、利子補給事業による借入負担軽減や農業融資に強い人材育成強化にも取り組んでいます。

### JAバンク北海道の多様な農業資金

対象者や資金使途に応じ、さまざまな資金を設けています。道内JA統一資金のほか、北海道信連独自資金も設けており、JAバンク北海道が一体となって担い手等への金融対策強化に取り組んでいます。

#### 【道内JA統一資金】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
JAフルスペックローン	農機具や格納庫など、比較的小口の設備資金	73,367
JA農業経営緊急支援資金	飼料費などの生産資材の高騰あるいは災害などにより緊急に必要な中・長期運転資金	5,554
JAエクステンジローン	他の金融機関から借入している農業経営に係る事業資金の借換に必要な資金	5,038
JA農業経営サポートローン	経営所得安定対策に係る交付金等入金までの間に必要となる運転資金	892
JA農業経営ステップアップローン	農業経営に必要な設備資金や中・長期運転資金	36,074
JA営農応援ローン	農業経営に必要な短期運転資金	1,949
JA新規就農応援資金	新規就農者の農業経営にかかる設備・運転資金	213
JA再生可能エネルギー施設等資金	再生可能エネルギー利用の取り組みを支援するための発電・蓄電設備取得資金	210
JA農業後継者応援資金 JA中核農業者応援資金	既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	2,252
JA担い手経営対策資金	既往農業負債の借換並びに借換に必要な費用	286
JA畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛(素牛)の育成・肥育に必要な運転資金等	407
JA農業経営維持継続資金	大規模災害下における営農の維持継続に必要な既往債務の借換並びに農業経営改善に必要な資金	12

## 【北海道信連独自資金（農家組合員向け）】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営ステップアップ資金	農地・施設・機械の取得等、農業経営改善に要する資金	5,106
信連 新規就農者資金	新規就農者が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（営農資金・住宅資金）	267
信連 農業法人経営応援資金	農業法人が、農業経営を行っていく際に必要となる資金（運転資金・機械・設備資金）	3,370
信連 担い手経営対策資金	返済負担軽減や農業経営の安定化・高度化のための既往負債の借換並びに借換に必要な費用	1,311
信連 畜産等経営資金	繁殖牛導入等に必要な長期運転資金 初生牛（素牛）の育成・肥育に必要な運転資金等	747

## 【北海道信連独自資金（総合JA向け）】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
農業経営緊急支援資金	生産資材の高騰あるいは災害などにより、緊急に必要な運転資金をJAが農業者に融資する際の原資をJAに融通する資金	3,069
共同利用施設等設備資金	組合員が利用する共同利用施設等をJAが建設するための設備資金	25,979

当会では独自資金のほかに、制度資金や受託資金も取り扱っております。

## 【制度資金取り扱い状況】

(単位：百万円)

資金名	残高
農業近代化資金	17

## 【受託資金取り扱い状況】

(単位：百万円)

資金名	資金の使いみちなど	残高
日本政策金融公庫 (農林水産事業)	生産力の維持増進・食料の安定供給の確保に必要な資金	280,521
日本政策金融公庫 (国民生活事業)	教育を受けるために必要な資金	354
住宅金融支援機構	災害関連融資等政策的に重要なものを除き、原則として新規のお取り扱いはしていません。	6,779

## 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対する資金繰り支援

JAバンク北海道では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対する資金繰り支援として、国の経済対策を最大限活用すべく、低利な制度資金（農林漁業セーフティネット資金）の円滑な取扱いに取り組んでいます。

また、制度資金のみでは充足し切れない部分についても、組合員・農業者が安心して営農継続出来る様、経営安定に必要な運転資金に加え、既往債務の弁済に必要な借換資金を準備し万全の資金繰り支援を継続しています。

更なる感染の拡大、影響の長期化も懸念される中、農業者の資金繰り及び次年度の作付け等に支障が出ない様、引き続き金融支援に取り組んでいきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対する農林漁業セーフティネット資金の取扱いについては、令和4年3月末時点で1,411件、8,314百万円となりました。

## JAバンク北海道サポート事業の実施について

当会は、北海道農業や担い手を支援するため、平成26年度より「一般社団法人JAバンク北海道サポート基金」を設立し、新たに『JAバンク北海道サポート事業』を展開しています。

この事業は、道内のJAバンクから農業資金および住宅ローンの融資を受ける農業者・組合員に対し、利子助成を行うことにより借入負担の軽減を図るものです。

さらに、担い手のニーズ調査・研究や環境に配慮した地域社会の実現に繋がる事業・地域貢献活動等、幅広く北海道農業をサポートする事業に取り組んでおります。

令和3年度の農業資金に対する利子助成については、助成対象資金の新規貸付実行額が70億円、助成額は238百万円となりました。

## 担い手の期待に応える施策展開への取り組み

JAバンク北海道では、全道各地区に設置された戦略会議において、JAバンク担い手金融リーダー（227名）を中心に、担い手の期待に応える施策展開に向けて地区の実情を踏まえた実践事項等について協議を行っています。

### 【JAバンク担い手金融リーダー】

農業金融実務の専門家として各JAおよび当会に設置を進めてきたものです。

## 人材育成の取り組み

JAバンク北海道では職員の実務処理能力・融資渉外能力の向上および農業融資に関する知識の習得を図るため、「JAバンク農業金融プランナー」資格制度の取得に取り組んでおり、現在、802名が資格を取得しています。

# 農業者ニーズに立脚したソリューション提供の取り組み

農業者の経営課題やニーズに寄り添い、最適な課題解決策を提供するべく、北農5連と連携した営農サポート事業を展開しています。また、農業者向けフォーラム等の開催を通じて、農業法人・農業者との関係強化を図っています。

## 北農5連JA営農サポート事業

JAグループ北海道で構成する「北農5連JA営農サポート協議会」において、喫緊の課題である労働力確保に向けた事業や多様化・高度化する農業者の経営課題やニーズに対するコンサル機能の一層の充実に取り組んでおります。

### ①農業人材育成確保支援事業

JAによる人材の確保・定着の取り組みを後押しするため、地域における新たな手法による人材募集の取り組みに対して支援するほか、JAと市町村等が一体となってより定着しやすい環境を整えるための特色ある環境整備や機能向上を含めた環境整備の取り組みに対する支援事業。(3カ年予算額 2億2百万円)

### ②農業経営コンサルタント事業

JA相談機能の一層の充実を図り、農業者の経営課題の解決を支援することを目的に、農業者やJAが費用を負担せずに専門コンサルタントによる相談機能を提供する事業。(3カ年予算額 9百万円)

## 商談会への参加について

販路拡大機会の提供を通じて道内農畜産物の付加価値向上を後押しするため、平成30年度より、北洋銀行と帯広信用金庫が主催する「インフォメーションバザールin Tokyo」に、特別協力として参加しております。なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となりました。

## 農業者向けフォーラムの開催

フォーラムは、農業経営支援の一環として、平成23年度よりJAバンク北海道が主催し、JAグループ北海道が一体となって開催しているものです。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催延期となりましたが、農業経営者（個人・法人経営者）を対象に、今後の農業経営を考える上で一助となるような情報提供を目的として、次年度の開催を検討しております。

今後もフォーラムの開催を通じ、農業経営者の方々とJAグループとの、より一層の関係強化を目指してまいります。



# 利用者基盤の堅持・拡充に向けた 金融サービスの提供・支援

利用者に対する生活資金の供給（貸出）を通じ、地域における資金循環の活性化と、利用者ニーズに適切した提案や、利用者の生涯設計に資する最適な金融サービスの提供により、利用者基盤の堅持・拡充に取り組んでいます。

## 生活資金の貸出対応力の強化

JAバンク北海道は、生活資金の貸出を通じた地域における資金循環と地域活性化への貢献を目指し、生活資金の貸出強化に取り組んでいます。

### 住宅ローン利子助成の実施

JAバンク北海道では、環境に配慮した住宅取得等でJAの住宅ローンをご利用される組合員を対象に、利子助成による借入負担の軽減を行い、組合員の生活の向上や環境に配慮した地域社会の実現に取り組んでいます。

### 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたローン返済猶予等の対応

JAバンク北海道では、JAの住宅ローンやマイカーローン、教育ローンなどの生活資金をご利用中のお客様につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられている方を対象に、ローンの元金返済猶予の相談受付および条件変更の対応を行っています。（令和4年3月末時点で55件受付。）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、広範におよぶことで、より幅広い借入相談等がなされている状況にありますので、引き続き、お客様からのご相談に丁寧かつ親身に対応してまいります。

## 利用者本位・地域活性化に資する 多様なサービスの提供

### 組合員・地域の皆さまとの総合取引拡充に向けた取り組み

JAバンク北海道では、道産農畜産物を活用したJAならではのサービスを展開し、組合員・地域の皆さまとの総合取引の拡充に取り組んでいます。

令和3年度は、JAバンク北海道で給与、年金のお受け取りや、JAネットバンク、JAバンクローンなどをご利用いただいた方を対象に、道内JAの特産品などが当たる企画「さしあげマスマス2021」を実施しました。

また、道内JAで年金をお受け取りいただいているお客様に、「年金サクスプレゼント」を実施し、日ごろの感謝を込めて道産小豆を使用した「招福ようかん」をお渡ししました。ようかんのパッケージには、北海道警察と連携した“特殊詐欺被害に関する注意喚起の標語”を印刷し、詐欺被害の未然防止に取り組みました。

JAバンク北海道は、「北海道日本ハムファイターズ」とスポンサー契約を締結しており、令和3年度は、ファイターズと連携した「がんばれ！ファイターズ応援キャンペーン」を実施し、年金お受取り口座を他行からJAバンクへ指定替えしていただいたお客様を対象に、ファイターズ観戦チケット、限定ユニフォームまたは公式グッズを進呈しました。

【がんばれ！ファイターズ応援キャンペーン】

【年金サクスプレゼント】

事業実績

招福ようかんパッケージ（表面）



招福ようかんパッケージ（裏面）



相続等相談機能の拡充に向けた新たなサービス提供

JAバンク北海道では、道内金融機関で初めて、平成31年4月より成年後見制度を利用される方を対象とした「成年後見支援貯金」の取り扱いを開始し、現在90JAで取り扱い中です。

成年後見支援貯金は、成年後見制度を利用する成年被後見人さまの貯金のうち、日常的な支払いに使用しない金銭について別管理するための貯金で、その口座開設ならびにお支払いやご解約などに家庭裁判所の発行する「指示書」を必要とします。そのため、成年被後見人さまの財産について透明性の高い適切な管理を行うことができ、財産管理にかかるトラブルの防止が期待できます。

JAバンク北海道では、本貯金の取り扱いにより、社会的要請が高まっている成年後見制度の普及に貢献するとともに、組合員・地域の皆さまの相談ニーズにお応えできるよう取り組んでまいります。

## JA（バンク）サポーターの拡大に向けた取り組み

JAバンク北海道では、地域活性化やJAバンクの認知度向上を目的として、令和3年9月にプロ野球の北海道日本ハムファイターズ対東北楽天ゴールデンイーグルス戦に協賛し、スポンサーのイベントデー「JAバンク北海道スペシャルナイター」を開催しました。

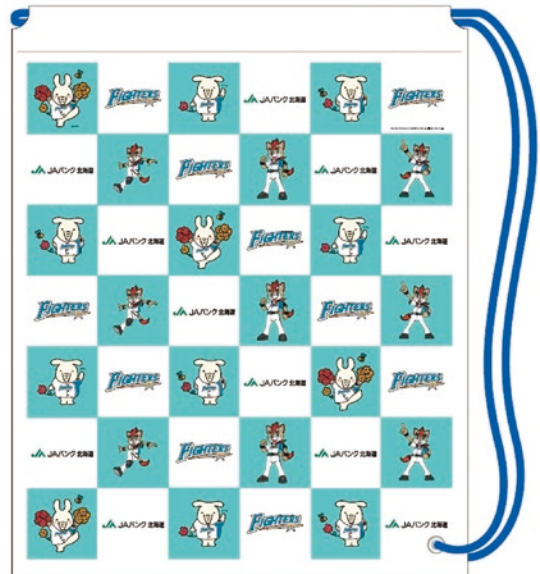
当日は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中の開催となり、来場数を制限しての実施となりましたが、来場者4,950名に、北海道日本ハムファイターズとJAバンクキャラクター「よりぞう」がコラボレーションした「ワンショルダーバッグ」を配布しました。

また、ラッキープレゼントとして、牛乳の消費拡大も兼ねて、抽選で100名様に牛乳贈答券と「よりぞう」グッズをプレゼントしました。

【当日の様子】



【ワンショルダーバッグ】



【ラッキープレゼント】



## 非対面チャネルの機能拡充と利用促進に向けた取り組み

JAバンク北海道では、JAバンク利用者の利便性向上を目的に、キャッシュレス化や非対面化を進めているなか、令和3年9月より「メルペイ」、令和4年3月より「PayPay」へのチャージをJA口座から直接行えるサービスを開始しました。

また、令和3年10月より、WebからJAカードの申込みができるサービスも開始しました。

